

園だより あおいそら3月号

令和8年2月18日（水）

熊本大学教育学部附属幼稚園



園長コラム

1年間、ありがとうございました 未来をつなぐ子ども達へ



本年度、最後の「あおいそら」となりました。たくさんの思い出、喜び、感謝の言葉を子ども達へ、保護者の皆様へお贈りしたいと思います。

1月24日（土）に開催しました、本園の幼児教育研究会は、たくさんの参加の皆様ご来園いただきました。お力添えありがとうございました。この日、参加の皆様に、こんな話をしました。「幼児教育において育まなければいけない力、大切な事は、わかっています。しかし、保育者は、今、目の前にいる子ども達に対して、私たちの保育はこのままでいいのか。一緒に考えていきましょう。」と話しました。子ども達が豊かな心を持ち、幸せな未来に向かって羽ばたいてほしい。私たちは、これからも、子ども達を大切に育てていきます。

私が附属幼稚園にもどってきて3年になります。熊本大学教育学部附属幼稚園は、私たち保育者、そして保護者の皆様の「愛情」で包まれています。これは、今も昔も全く変わりませんでした。いつも子ども達のためを思い、長い歴史の中で守っている本園の保育、本園の目指す幼児像。これを一緒に大切にしてくださいました。これは、保護者の皆様のお陰です。子ども達はきっとこれからの明るい未来を創造し、つなげていける人に育っていると信じています。

最後に子ども達へ・・・

年長組さんは、いつも、みんな一緒。元気に鬼ごっこしたり、虫採りをしたり、小さい組さんに優しく声をかけ、いろんな遊びや活動を支えてくれたきく組、ふじ組のみなさん。ありがとう。

さくら組、もも組のみなさん。友だちとよく遊び、私もよく遊びの中に「どうぞお入りください」と仲間に入れてくれました。ありがとう。

ばらぐみのみなさん。園庭中を走り回り、スクーターも上手に乗れるようになりましたね。皆さんの笑い声が幼稚園を幸せにしてくれました。ありがとう。

これからも園庭の大きなくすのきのように、熊本大学教育学部附属幼稚園の子どもたちが大きく、たくましく、しなやかに成長されますことを心から願っています。

そして、いつも温かく園を支えていただいた保護者の皆様、一年間、大変お世話になりました。皆様のおかげで、園が活気づき、子ども達が安心して過ごすことができました。心より感謝申しあげます。4月からもどうか、お支えいただきますようお願いいたします。

